

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

2021 vol. 83
WINTER

ブンカ

BUNKA



旬の文化が集うコミュニティマガジン 季刊
ブンカ
BUNKA
vol.83
2021.12.15

Essay

エッセイスト 増永迪男氏

Interview

小曾根 真と私たちは
「音楽」という言葉で繋がり続ける

ジャズ・ピアニスト 小曾根 真氏

アートな人々

デザイナー 辻 麻美 氏



(公財)福井県文化振興事業団

発行 公益財団法人福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎077-638-8288 <https://www.fh.jp>



ハーモニーホールふくい

茅葺き屋根が残る板取(虎杖)宿

吉村昭「雪の花」から(南越前町)

「痘瘡禍」に奮闘する医師
その生きざまと、変わらぬ人の世

笠原良策(白翁)は、天然痘予防に命をかけた、幕末の福井藩医です。当時は「痘瘡」とよばれる天然痘が流行し、多くの死者が出ていました。良策は京都の種痘所から痘苗(ワクチン)を人体で植え継ぎ福井藩へ運ぶことを決意。現在の暦で1月2日の朝、雇った子どもとその親ら13人で、福井に向けて出発します。

しかし苦難は続きます。良策は私財を投げうって開設した種痘所で接種を始めますが、「そんな恐ろしい痘瘡の毒を」と母親達は子どもに受けさせることを拒否。「本当に痘瘡になった」「死人が出た」などのデマが横行し、良策は路上で石を投げられるまでに。最終的には松平春嶽の計らいで一件落着となるのですが、現在のコロナワクチン接種への警戒や、けん制し合う医師たちの姿など、現代社会に通じる人間ドラマも読み取れます。



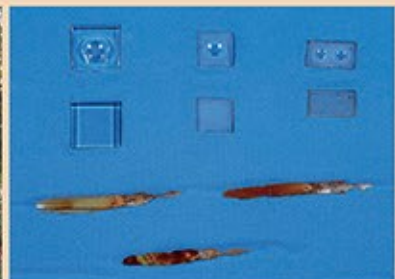
吉村 昭「雪の花」
1988年 新潮社刊



共に作家の吉村 昭・津村節子夫妻。ふくいゆかりの文人や作品を紹介する「福井県ふるさと文学館」は2017年、東京・荒川区の「吉村昭記念文学館」とおどろ文学館協定を結んでいる



足羽山の笠原白翁の功績をたたえる記念碑(福井市自然史博物館近く)



福井市立郷土歴史博物館で展示されている、白翁が使用した医療器具

Contents

- 1 今号の表紙
- 2 Essay 江戸時代 福井で初めて ワクチンをひろめた医師 笠原良策の物語 エッセイスト 増永迪男氏
- 3 Interview 小曾根 真と私たちは「音楽」という言葉で繋がりを続ける ジャズ・ピアニスト 小曾根 真氏
- 5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 11 Information
- 12 2022年 1~3月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 13 Interview アートな人々 デザイナー 辻 麻美氏
- 14 福井の手しごと「昆布かき」(敦賀市) / 逸品拝見「蓮如上人銅像」(あわら市)
- 15 福井県内イベントカレンダー

読者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、掲載している公演の開催日時や出演者などの情報は12月2日時点のものであり、予告なく変更される場合があります。詳しくは「ハーモニーホールふくい」の公式WEBサイト(https://www.hhf.jp)をご確認ください。

ESSAY

江戸時代 福井で初めて
ワクチンをひろめた医師
笠原良策の物語



板ノ木峠は福井県の南越前町と滋賀県長浜市の県境に位置する

吉村昭は福井市出身の芥川賞作家、津村節子さんの夫でこちらも作家。史実を詳しく調査して、昔をよみがえらせる作風には定評があり、多くの名作を残している。

本県にゆかりのある作品としては、幕末の水戸天狗党の行動を描く『天狗騒乱』があり、その片方には、初期の蘭方医の苦勞を語る『ふおん・しいほととの娘』や『長英逃亡』『北天の星』など、医学史に目を向けた作品も並んでいる。今回の『雪の花』は、そうした幕末医学史の列に連なる作品だ。

吉村がこの作品に向かったきっかけは、と考えると、それは恐怖の流行病、天然痘の生ワクチン接種を拒む、当時の世の中の無理解に、強い憤りを感じたからだろう。ワクチンにそっぽを向く世間で、ひとり奮闘する福井の

蘭方医・笠原良策を、今よみがえらせることが第一と、吉村は考えた。

考えれば、人間と流行病は共存状態だった。何度も大流行に見舞われてきた。幕末の日本でも、天然痘の流行は社会の大きな問題だった。病にかかると、たちまち体中に「噴き出もの」が出て、高熱が続くうちに死に至る。まれに助かるひとがいても、吹き出ものあとは、肌の窪みとなって残り、窪みは「あばた」と言われていた。

福井で漢方医を生業としていた良策は、どうにかして痘瘡(天然痘)を治せないものかと考える。そして長崎から日本にひろがったオランダ医学に近づいていく。実はそのころ、イギリス人ジェンナーは天然痘予防法を開発していた。それは天然痘にかかった牛

エッセイスト
ますなが みちお
増永迪男



出身地 / 1933年 福井市生まれ
著 書 / 福井の山150
夜明けの霧の山
日本海の見える山 など

その子供に接種して福井に向かう。途中、次の子供にワクチンを植え継ぎして、旅を続けるというものだった。

京での親子捜しに手間どって、福井への旅は真冬になった。北国街道で帰ることにしたが、途中に板ノ木峠の難所がある。大雪の峠越えでは遭難寸前となるが、ついに虎杖からの救援隊がくる。深夜に合流できた。

そして福井。良策や少数の医師たちは接種を呼びかけたが、子供は集まらなかった。「植え痘瘡をしろと牛になる」とデマが飛ぶ。良策が出かけていくと、親は子供を隠し、石を投げつけた。

しかし、ここでも殿様のひと声で、形勢は変わっていく。やがて接種所には、行列ができるほどになるのだった。

小曾根 真

Makoto Ozono



小曾根 真と私たちは「音楽」という言葉で繋がり続ける

53日間のライブ配信 そこで得たものは

世界的なジャズ・ピアニストとして第一線で活動する小曾根真さん。クラシック音楽のジャンルでも多彩な活動を続けている小曾根真さん。今年3月に還暦を迎えた小曾根真さんが、その演奏は常にみずみずしく、世代を超えて熱い支持を集め続けています。2020年はコロナ禍による緊急事態宣言の中、自宅から53日間「Welcome to Our Living Room」と題する配信を続け、大きな話題となりました。

スマートフォン台で映像も音源も録音できる時代ですが、そこは小曾根さん、やるなら音にはこだわりたい、と音楽会社からピアノ用のマイクを2本借り、さらにスマートフォンを9台繋げるアプリを活用するなど、どんな体勢が整っていったらいいか、と試行錯誤を繰り返してきています。

「4月9日に最初に配信を行った時はテストのつもりだったんですが800人もの方に視聴してもらって、思わず「明日もやるのかな」とつぶやいたら、明日もやるって言いましたね」と反応がきて、そこから始まりました。

「スマートフォンの神野三鈴が、音楽をきちんと聴いてもらうためには映像も大切と言っていて、部屋を蝋燭で飾ったりカメラの角度を考えてくれたりしました。配信にはたたくさんのコメントが寄せられました。その中には「これで明日も生きられます」という切実な声もあって、そういう声に答えるためにも、毎晩9時にここにすれば音楽があるという状況をつくらうという気持ちで続けたいです」

小曾根さんがピアノを弾き、それをどこかにいる誰かが聴く。そして幸せな気持ちになったり、あるいは涙したり。音楽を聴くことで人の心の中にあるさまざまな想いが浄化されていくことこそが、音楽がこの世に存在する理由だ、と小曾根さんは語ります。

「だから、僕が53日間のライブ配信を続けられたいちばんの理由は、僕の音楽を聴いてくれた皆さんへのお礼の気持ちなんです。僕が着ている服も食べているものも、全部皆さんが買ってくださいました。CDやライブのチケット代でできています。これはアーティストが絶対に忘れてはいけないことです」

還暦記念アルバムで クラシック音楽のアドリブに挑戦

今年3月、小曾根さんは「OZONE60」と題する2枚組のアルバムをリリース。ジャズとクラシック音楽から選ばれた作品からは、ピアニスト小曾根真の魅力がこれでもかとあふれています。

「これまでオリジナルを大切にすると、このアルバムで弾いてきたクラシック音楽の作品も、このアルバムでは自由にアドリブを入れました」アドリブとは、実は曲が自分自身の中にしっかりと定着していないと怖くてできない、と小曾根さんはいいます。表面的にいってもそれは「こんなこともできる」というだけに終わってしまう。きちんと曲が自分のものである初めて、そこにアドリブを入れる「意味」が出てくるのです。「即興」といってもその背景には、しっかりとした作品理解が必要なのだということが伝わってくる言葉です。

全国ツアーもスタート 60歳最後の夜は福井で

アルバムのリリースとともに、1年かけて全道府県を回るソロ・ライブ・ツアーもスタート。初日の3月25日(60歳の誕生日!)は東京・サントリーホールで公演が行われました。

「サントリーホールでソロのライブを行うのは初めてでしたが、ステージに出ていった瞬間の会場の雰囲気、ものすごく良かった!お客さまの期待や音楽に対するエネルギーが伝わってきて、実はとても緊張しました。と同時に、僕はまだ緊張できる人間なんだな、とも思いました」

小曾根さんによれば、アーティストにとってもっとも怖いのは「慣れ」だそう。前進し続ける人には常に「これでいいのか」という不安がつきまとうものですが、逆に「これでいいんだ」と思った瞬間に進化は止まってしまう。そんな時、自分の音楽を聴きに来てくれたお客さまの存在がいちばん励みになる、と小曾根さん。初日に得た緊張感、その確かな手応えの現れたことに違いありません。

この全国ツアー、もちろん福井にもやってきます。60歳最後の夜である2022年3月24日、進化し続ける小曾根真を体験しに、ハイモニーホールふくいに足をお運びください。

構成・文/室田尚子(音楽評論家)



2枚組のアルバム「OZONE60」レコーディング会場、水戸芸術館コンサートホールATMIにて



小曾根が「彼女がプロデューサー」と称するパートナー神野三鈴と



ピアノ：小曾根 真

2022.3/24(木)

協賛：FM FUKUI

小曾根 真 60th Birthday Solo
OZONE60
Classic×Jazz

- 大ホール
- 開場/18:15 開演/19:00
- 全席指定:5,000円 車いす席:4,000円
小~大学生:半額
- 発売日/協 12/14 友 12/15 協友 12/16
12/18 友 12/19

出 ピアノ：小曾根 真

(共催：福井テレビ)



ツアーでは今年3月にリリースされた2枚組のアルバム『OZONE60』をベースに、クラシック音楽とジャズそれぞれのジャンルを中心に、クラシック音楽からはプロコフィエフのピアノ・ソナタ第7番やモーツァルトなどが含まれています。さらに福井公演では、なんとジャズのスタンダード・ナンバーも披露されるとのサブライズ情報！

実は『OZONE60』録音時、密かに何曲かのスタンダード・ナンバーを即興で演奏していたという小曾根。それらを集めたアルバム『OZONE60』



ツアー初日、サントリーホールにて(2021年3月25日)

「節目の年に贈る 小曾根 真の音楽の真髄」

2021年、60歳を迎えたピアノリスト小曾根真。誕生日である3月25日に東京・サントリーホールで行われた初ソロ・ライブを皮切りに、1年をかけて全国都道府県を巡るツアーをスタートさせました。ここ福井には、60歳最後の日となる2022年3月24日に登場します。

ツアーでは今年3月にリリースされた2枚組のアルバム『OZONE60』をベースに、クラシック音楽とジャズそれぞれのジャンルの作品をプログラム。ジャズは小曾根のオリジナル曲を中心に、クラシック音楽からはプロコフィエフのピアノ・ソナタ第7番やモーツァルトなどが含まれています。さらに福井公演では、なんとジャズのスタンダード・ナンバーも披露されるとのサブライズ情報！

「節目の年に贈る 小曾根 真の音楽の真髄」

2021年、60歳を迎えたピアノリスト小曾根真。誕生日である3月25日に東京・サントリーホールで行われた初ソロ・ライブを皮切りに、1年をかけて全国都道府県を巡るツアーをスタートさせました。ここ福井には、60歳最後の日となる2022年3月24日に登場します。

ツアーでは今年3月にリリースされた2枚組のアルバム『OZONE60』をベースに、クラシック音楽とジャズそれぞれのジャンルの作品をプログラム。ジャズは小曾根のオリジナル曲を中心に、クラシック音楽からはプロコフィエフのピアノ・ソナタ第7番やモーツァルトなどが含まれています。さらに福井公演では、なんとジャズのスタンダード・ナンバーも披露されるとのサブライズ情報！



ピアノ、指揮：反田 恭平

2022.3/19(土)

協賛：福井信用金庫 福井新報社

反田恭平プロデュース
ジャパン・ナショナル・オーケストラ

- 大ホール
- 開場/14:15 開演/15:00
- 全席指定:8,000円 車いす席:6,400円
小~大学生:半額
- 発売日/協 12/14 友 12/15 協友 12/16
12/18 友 12/19

出 ピアノ、指揮：反田恭平
管弦楽：ジャパン・ナショナル・オーケストラ
曲 メンデルスゾーン：ピアノ協奏曲 第1番
ヴァイオリン協奏曲 ほか

世界が認めた才能 反田恭平、来福！

2021年10月、大きなニュースが日本中を駆け巡りました。第18回シヨパン国際ピアノ・コンクールで、歴代日本人最高位と並ぶ第2位を反田恭平が獲得したのです。27歳での快挙に、クラシック音楽ファンならずとも多くの日本人が喝采を贈りました。

その反田が、ジャパン・ナショナル・オーケストラ(JNO)と共に八木ホールふくいにやってきました。

JNOは反田自身がプロデュースし、同世代の実力派メンバーと共に立ち上げたMLMナショナル管弦楽団が前身。コンサートマスターを務める岡本誠司は、2021年にミュンヘン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で第1位を獲得するなど、新時代のヴァイオリニストとして注目を集めている逸材です。今回は反田の弾き振りによるメンデルスゾーンのピアノ協奏曲第1番、そして岡本のソロによる同じくメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲が予定されています。



ヴァイオリン：岡本誠司

若い世代のアーティストたちがここ福井から発信する、魅力あふれる音楽の世界をその耳で聴き届けてください。



管弦楽：ジャパン・ナショナル・オーケストラ

反田恭平がメンデルスゾーンを選んだ理由

メンデルスゾーンのピアノ協奏曲について、反田さんは「ピアノを指す子ども達に聴いてほしいと語ります。『プロのピアニストにとって協奏曲を演奏できることは必須ですが、日本のピアノ教育では、ピアノ協奏曲をレッスンで学んだりオーケストラと共演する機会が少ない。その中でもこの曲はかなり早い時期に勉強すると思います。やはり実際の演奏会で聴く機会は多くありません。そんなことから今回ぜひ生の演奏に触れてほしいと思いました』

また、JNOのコンサートマスター岡本誠司さんと2人がそれぞれメンデルスゾーンの協奏曲を弾くことにも強い想いがあるそうです。実はシヨパンはメンデルスゾーンに強い影響を受けていると語る反田さん。シヨパン「反田恭平が弾くメンデルスゾーン、注目です。」



Concert Navigation

Concert Navigation



聴衆を魅了したソプラノ歌手の東さんと、AIの共演。AIの挙動を示す光の動きも神秘的でした

「AIがピアノ伴奏する」という情報を聞き、大いに興味をそそられてこの秋、東京から福井に出張しました。新年の「ニューイヤークラシック2022」の前触れとして10月19日に開催された「ハーモニーブンカさろん」AIがクラシックと語り合う時「レポーター」取材しました。

「AIがピアノ伴奏する」という情報を聞き、大いに興味をそそられてこの秋、東京から福井に出張しました。新年の「ニューイヤークラシック2022」の前触れとして10月19日に開催された「ハーモニーブンカさろん」AIがクラシックと語り合う時「レポーター」取材しました。東京芸術大学COI拠点とヤマハ株式会社、ハーモニーホールふくいが協働する取り組みで、人工知能であるAI (artificial intelligence) を音楽や舞台芸術に活用しようというプロジェクトです。この時はソプラノ歌手の東園さんがヴェルディの「椿姫」から「乾杯の歌」

AIが教えてくれる 人間の営みの深遠

第23回「ハーモニーブンカさろん」 AIがクラシックと語り合う時「レポーター」

「花から花へ」を歌唱。AIがピアノ伴奏を担当しました。コンサート前日のリハーサルから取材したのですが、最初は東さんとAIの呼吸が合いませんでした。クラシックの演奏ですから、メトロノームのように機械的にテンポやリズムを刻んだのでは話になりません。AIも東さんに合わせようとしている気配は分かるものの、ギクシャクしてどうもうまくいきません。AIの挙動は球面レンズを経由した光の点滅や動きで演奏者に伝える仕組みですが、東さんは「何を考えているか分からないAIに合わせるのには難しい」と困り顔。

「花から花へ」を歌唱。AIがピアノ伴奏を担当しました。コンサート前日のリハーサルから取材したのですが、最初は東さんとAIの呼吸が合いませんでした。クラシックの演奏ですから、メトロノームのように機械的にテンポやリズムを刻んだのでは話になりません。AIも東さんに合わせようとしている気配は分かるものの、ギクシャクしてどうもうまくいきません。AIの挙動は球面レンズを経由した光の点滅や動きで演奏者に伝える仕組みですが、東さんは「何を考えているか分からないAIに合わせるのには難しい」と困り顔。さてどうなるのか、と思っていると、立ち会っていたピアノニストの谷口佳奈香さんが「このAIは私と一緒にです」と口を開きました。谷口さんは、あらかじめ電子ピアノでプログラムの曲を演奏し、AIにプログラムのイルを記憶させる役割を担って

その話でAIには確かなキャラクターがある、と東さんも納得したようです。AIのバラメーターを修正しながらリハーサルを重ねると、どんどん呼吸があってきて、クラシックの演奏らしくなってきました。東さんがわざと大げさにテンポを落としたり、上げたりしても追従してきたうえで、「そのテンポは違うよ！」

と元のテンポに戻そうとする動きまでAIはします。リハーサルを終えた東さんは「最初はAIが怖かったのですが、だんだん可愛くなってきちゃいました」と笑顔を見せました。翌日の本番の演奏も見事でした。ただ、さらに心を打ったのは、AIとの演奏に続いて行われた東さんと谷口さんの共演です。息の合った演奏でヴェルディやプッチーニのアリアが次々と披露され、当たり前前にも思っていた「人と人が合わせる」ということがいかに凄まじい営みなのか、ということに改めて実感しました。



東さんとピアノの谷口さんが共演。人間同士が息を合わせて演奏することのすばらしさを再認識しました

AIが発展することで、人間の仕事が奪われるという懸念ももちろんあります。今回のプロジェクトを主導するひとり、ヤマハの田島元一さんは「AIの芸術分野の活用がどういう意味を持つのか、私たちが試行錯誤しながら考えている段階」としたうえで、「高度な芸術表現もAIで可能になれば、むしろ人間でなければできない営みとは何なのか、を突き詰めて考えるきっかけになるかもしれません」といいます。確かに開幕や将棋も今やAIが最強という時代ですが、人間同士の対局が廃れる気配は

と元のテンポに戻そうとする動きまでAIはします。リハーサルを終えた東さんは「最初はAIが怖かったのですが、だんだん可愛くなってきちゃいました」と笑顔を見せました。翌日の本番の演奏も見事でした。ただ、さらに心を打ったのは、AIとの演奏に続いて行われた東さんと谷口さんの共演です。息の合った演奏でヴェルディやプッチーニのアリアが次々と披露され、当たり前前にも思っていた「人と人が合わせる」ということがいかに凄まじい営みなのか、ということに改めて実感しました。

ありません。むしろAIによって競技の新しい魅力が引き出されている側面もあります。AIをアートに活用する研究は始まったばかりですが、その行方はもしかしたら大きくアートの将来を左右するかもしれません。「ニューイヤークラシック2022」では、外国語上演されるオペラの字幕を演奏に合わせてAIが切り替え、さらに字幕自体がアイトとして成立するような仕組みもあるそうです。従来、手作業で行われていた字幕操作が自動化され、かつ美術的な効果も期待できるとなれば、舞台芸術の重要な技術革新になる可能性があります。大いに注目したいですね。

(文責読売新聞東京本社記者 岡部匡志)



ソプラノ：小林沙羅 テノール：西村 悟



ヴァイオリン：松本大 ヴァイオリン：大江 馨 ヴィオラ：村松 龍 チェロ：伊藤文嗣 コントラバス：大橋 登



ヴァイオリン：松本大 ヴァイオリン：大江 馨 ヴィオラ：村松 龍 チェロ：伊藤文嗣 コントラバス：大橋 登

2022.1/10(月・祝) 協賛 FBC

ニューイヤークラシック2022 テクノロジーとクラシックで遊ぶ新年!

●大ホール ●開場/13:15 開演/14:00 ●S席:6,000円 A席:4,000円 車いす席:4,000円 小~大学生:半額 協賛 2割引 発売中

【第1部】世界初! AI字幕付きオペラハイライト
ソプラノ:小林沙羅、テノール:西村 悟、ピアノ:河原忠之
ヴェルディ:オペラ「椿姫」から「乾杯の歌」、「それはかの人か〜花から花へ」ほか
【第2部】ハートストリングスなストリングス
ヴァイオリン:ソロ:伝田正秀、チェンバロ:鈴木慎崇
弦楽五重奏(ヴァイオリン:須山暢大、大江 馨、ヴィオラ:村松 龍、チェロ:伊藤文嗣、コントラバス:大橋 登)
J.シュトラウスII:ピチカート・波尔カ
ヴィヴァルディ:「四季」から「春」、「秋」ほか
助成:文化庁 (協力:東京芸術大学COI拠点)

400年の時を超えて 新たなアートが誕生する 新しい年の幕開けを、クラシック音楽の名曲で彩るニューイヤークラシック。2022年はAI(人工知能)を使った革新的アートとともに、日本を代表するトップ・アーティストたちが贅を競い合います。

第1部は、歌の字幕をAIが映し出す世界初の試みで贈るオペラ「椿姫」ハイライト。絶世の美女ヴィオレッタと純粋な若者アルフレードとの悲恋を描いたヴェルディの傑作です。ヴィオレッタを歌うのは、今もつと輝いているソプラノ小林沙羅。考え抜かれた表現はその容姿の美しさと相まって、観客の心をとらえてはなりません。アルフレードを歌う西村 悟は、日本人離れしたスケール感のあるテノール。ホールいっぱいに響き渡る美声に浸ってください。数々のステージで歌手を支えてき

た河原忠之の立体感のあるピアノにも注目です。第2部は新日本フィルハーモニー交響楽団のゲスト・コンサートマスター 伝田正秀と、国内の主要オーケストラのメンバーやソリストとして国内外で活躍する奏者から成る特別編成の弦楽アンサンブルでお楽しみください。ヨハン・シュトラウスやモーツァルトをはじめ、新春らしい華やかな曲をお届けします。また、ヴィヴァルディ「四季」の「春」AIがスクリーンいっぱい幻想的な映像作品を投影します。最先端の技術と伝統的なクラシック音楽との融合を体験できる貴重な機会となるでしょう。

透明人間との コラボレーション!? 人と人とのあいだに、ソフトと透明人間のように入り込んで、私たちがこうしたいと思っていることをさりげなく実現してくれる。それがAIです。これはAIがやっている、ということが見えてしまっているAIではありません。今回のAIが映し出すオペラの字幕も、通常、オペラの字幕は、ライブ演奏にあわせてオペレーターが一枚一枚出していく作業です。しかし人力の作業の一部分をAIに替えることによって、人手を軽減するという発想ではなく、人にはできない別のアイデアが生まれることを目指しています。AIが介入することによって、「より自然で、エンターテインメント性の高いオペラの鑑賞スタイルを提案できたら幸いです。」

(東京芸術大学COI拠点 インクルーシブアーツ研究 特任教授 新井 鷗子)



令和3年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生



指揮：清水麗輝

弦楽器を愛する若い力
その輝きを「目撃」する

福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナーは、小学生から大学生の弦楽器を学ぶ人たちにアンサンブルの楽しさを感じてもらおうことを目的に、平成18年にスタートしました。楽器、特に弦楽器のレッスンは孤独との戦いだといわれます。受講生たちはセミナーを

通じて一緒にがんばる仲間とめぐりあい、お互い切磋琢磨しながら共に成長していきます。

セミナーを指導するのは、桐朋学園で教鞭を執るほか、アルカスSASEBOジュニアオーケストラ、東海市子どもオーケストラの指揮者としても活躍する清水麗輝。また、卒業生たちが後輩たちのレッスンを受け持つのも大きな特徴です。今年で16年目を迎える福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナーは、福井における「弦楽器を愛する人たちのコミュニティ」作りに一役買っているといえるでしょう。

ジュニアが輝く！音楽の森コンサートは、そんなセミナーの受講生たちが1年間研鑽を積んできた成果を発表する場。今年も初参加者も多く、フレッシュなメンバーが集まりました。プログラムは弦楽愛好家には馴染みのポツケリーニの「メヌエット」、ホルストの「セント・ポール組曲」を予定。弦楽器を愛する福井の若い力が結集するこのコンサートをどうぞお聴き逃しなく！



福井県新人演奏会2021から

福井から羽ばたく
未来の巨匠たち

福井県在住、または出身の新人演奏家の登竜門としての福井県新人演奏会。毎年2月に、満18歳から30歳までの若い演奏家を対象に、ピアノ、声楽、器楽、作曲の各部門でオーディションを開催。審査員には日本を代表する音楽家が顔を揃えます。オーディションで選ばれたメンバーが、この演奏会に出演することができます。

オーディションは一般公開されています。毎年、オーディションから演奏会までを通して鑑賞して応援してください。お客様もいらっしやいます。プロとして活躍している演奏家も数多く輩出しているこの新人演奏会。明日のスターを探しに足をお運びください。

2022.3/26(土)

協賛：福井ケーブルテレビ株式会社
さかいケーブルテレビ株式会社



ジュニアが輝く！
“音楽の森”コンサート2022

- 小ホール
- 開場/14:15 開演/15:00
- 全席自由:500円
3歳~高校生・車いす席:100円
- 発売日/協 1/18 友 1/19 協友ネ 1/20
1/22 1/23

指揮：清水麗輝
令和3年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生

曲：ポツケリーニ：弦楽五重奏曲 G275 から「メヌエット」
ホルスト：セント・ポール組曲 ほか

助成：文化庁

2022.3/20(日)

協賛：(公助)げんでんふれあい福井財団



福井県新人演奏会
2022

- 小ホール
- 開場/13:15 開演/14:00
- 全席自由:500円 [学生・車いす席割引なし]
- 発売日/協 1/18 友 1/19 協友ネ 1/20
1/22 1/23

曲：オーディション合格者
(ピアノ、器楽・作曲、声楽の各部門)

助成：文化庁

2022.1/16(日)

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ



白根奈々
心に響く日本のうた

- 小ホール
- 開場/13:15 開演/14:00
- 全席指定:3,000円 車いす席:2,400円
小~大学生:半額
- 発売中

ソプラノ：白根奈々、天賜まゆみ
ピアノ：泉麻衣子、竹沢友里 等：永田雅秀
合唱：仁愛女子高等学校コーラス部
司会：岡田健志

曲：滝 廉太郎：荒城の月
山田耕筰：からたちの花
中田喜直：“マチネ・ゴエティク”による四つの歌曲 ほか

助成：文化庁



ソプラノ：白根奈々



等：永田雅秀

ソプラノ：天賜まゆみ



合唱：仁愛女子高等学校コーラス部

伝統から現代へ
日本の心を紡ぐ「うた」

越のルビーアーティスト白根奈々による「心に響く日本のうた」は、次の世代に残したい日本の芸術文化に焦点を当てる

企画。すべて日本人作曲家の作品による2部構成のコンサートです。

前半は、伝統的な日本歌曲の世界をたつぷりとお楽しみください。山田耕筰、團伊玖磨、中田喜直など西洋音楽

との邂逅の中から生み出された歌曲は言葉とメロディの美しさが印象に残ります。また、福井の邦楽界を牽引する筈の永田雅秀との競演も楽しみ。

後半は木下牧子、信長貴富などによる現代日本の歌曲や合唱曲を。合唱は、これまで数々のコンクールで優秀な成績を収めてきた仁愛女子高等学校コーラス部。日本歌曲の未来への広がりを感じられるにちがいありません。

独唱、合唱、琴、そして2人のピアニストとともに贈りする「日本のうた」の世界。懐かしさと新しさ、優雅さと明るさが心に響く時間を堪能ください。

12/23(木)

協賛：福井テレビ

「ステージできく」トリオAXIS
ピアノ：竹沢友里

- 大ホールステージ
- 開場/18:15 開演/19:00
- ステージ席・2階席(全席指定):3,000円
小~大学生:半額
- 発売中

トリオAXIS
ヴァイオリン：佐久間聡一
ヴィオラ：生野正樹
チェロ：奥泉貴圭
ピアノ：竹沢友里

曲：フランセ：弦楽三重奏曲
ベートーヴェン：弦楽三重奏曲 op.9-3
フォーレ：ピアノ四重奏曲 第1番

助成：文化庁



トリオAXIS(ヴァイオリン：佐久間聡一、ヴィオラ：生野正樹、チェロ：奥泉貴圭)



ピアノ：竹沢友里

互いを認め合う3人の絆を
ステージで体感！

ハローモニーホールふくいのレジデントとして3期目に入ったトリオAXIS。今年「ステージできく」コンサートで福

井の皆さまの前に登場します。曲目は、ベートーヴェンとフランセの弦楽三重奏曲、そしてピアノを加えてのフォーレの四重奏曲。ちょっと珍しいフランセは、3人ともこれが演奏会では初披露となるそうです。

AXISの3人はとても仲よし。忙しい合間にも時間をとって集まり、泊まり込みで練習するのだとか。12月のコンサートでは、そんな3人の絆の固さが、演奏からも伝わってくることでしよう。

13 第10回 NPO法人
ふくい子どものための音楽教室
演奏コース発表会

- 小ホール
- 9:50開演
- 無料(関係者のみ)
- ※NPO法人 ふくい子どものための音楽教室
☎0776-97-6833

19 反田恭平プロデュース
ジャパン・ナショナル・オーケストラ

- 大ホール
- 15:00開演
- 全席指定8,000円 車いす席6,400円
- ※ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

ぐるーぶドルチェ
ピアノ発表会

- 小ホール
- 10:00開演
- 無料(関係者のみ)
- ※ぐるーぶドルチェ 大久保
☎090-1390-0401

20 (越のルビープロジェクト)
福井県新人演奏会 2022

- 小ホール
- 14:00開演
- 全席自由500円
- ※ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

24 小曾根 真 60th Birthday Solo
OZONE60 Classic X Jazz

- 大ホール
- 19:00開演
- 全席指定5,000円 車いす席4,000円
- ※ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

26 (越のルビープロジェクト)
ジュニアが輝く!
"音楽の森"コンサート 2022

- 小ホール
- 15:00開演
- 全席自由500円
- 3歳~高校生・車いす席100円
- ※ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

27 第32回
羽水高等学校文化部
定期演奏会

- 大ホール
- 14:00開演
- 全席自由300円
- ※福井県立羽水高等学校
☎0776-36-1678

フリージアコンサート

- 小ホール
- 10:00開演
- 無料(関係者のみ)
- ※フリージア 加藤
☎090-4323-0420

6 第45回
北陸アンサンブルコンテスト

- 大ホール
- 9:00開演
- 全席自由1,500円
- ※福井市立中学校 林
☎0776-35-8310

12 第10回
福井県吹奏楽ソロコンテスト

- 小ホール
- 10:00開演
- 要整理券(出演者の関係者のみ配布/
当日配布はありません)
- ※武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

13 ふくい県民総合文化祭
第16回
福井県合唱ふれあいフェスティバル

- 大ホール
- 12:30開演
- 全席自由1,000円
- ※福井県合唱連盟 大瀬
☎0778-51-5856

19 認定こども園 梅園幼稚園
令和3年度 生活発表会

- 小ホール
- 11:00開演 / 14:30開演
- 無料(関係者のみ)
- ※認定こども園 梅園幼稚園
☎0776-38-5811

20 ふくい県民総合文化祭
冬のマーチング・パト
ンふれあいフェスティバル
ビートセッション2022

- 大ホール
- 15:00開演
- 全席自由500円
- ※福井県パトソン協会事務局
fukuia_baton_association@yahoo.co.jp

[福井県新人演奏会2022]
[若い芽コンサート2022]
[越のルビーアーティストバンク]
公開オーディション&エキシビジョン・ステージ

- 小ホール
- 10:00開始予定
- 無料(整理券不要)
- ※(公財)福井県文化振興事業団
☎0776-41-4266

27 ガールスカウト福井県支部・連盟
結成60周年記念式典

- 大ホール
- 13:00開演
- 無料(関係者のみ)
- ※(一社)ガールスカウト福井県連盟
☎0776-41-4266

第27回
ピティナ・ピアノコンペティション
入賞者コンサート

- 小ホール
- 10:30開演
- 全席自由800円
- ※ピティナ福井支部
開演堂楽器センター 福井 宮田
☎0776-52-0711

ハーモニーホールふくい コンサート情報 2022.1.2.3

※部は、当ホールの自主公演でP.3~P.11に見どころなどが紹介されています。
(2/20、3/20、3/26の公演を除き、小学生から大学生まで対象)
※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(12/2時点の情報です)
※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。

22 第55回 福井県吹奏楽
アンサンブルコンテスト

- 大ホール
- 10:00開演
- 1,300円(出演者の関係者のみ入場可/
当日券はありません)
- ※武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

第55回
カワイ音楽コンクール
カワイこどもピアノコンクール
オーディション

- 小ホール
- 開始時刻未定
- 無料(関係者のみ)
- ※福井県立高志高等学校・中学校 岸名
☎0776-24-5175

23 福井大学
フィルハーモニー管弦楽団
第69回 定期演奏会

- 大ホール
- 14:00開演
- 全席自由500円
- ※福井大学フィルハーモニー管弦楽団 堀内
☎080-5829-0618

第55回 カワイ音楽コンクール
カワイうたのコンクールオーディション
第55回 カワイ音楽コンクール
カワイピアノコンクール予選会

- 小ホール
- 開始時刻未定
- 無料(関係者のみ)
- ※河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

29 第35回 ヴォーカルアンサンブル
コンテスト

- 大ホール
- 10:00開演
- 全席自由500円(出演者からの購入可/
当日券はありません)
- ※福井県合唱連盟 前川
☎090-2834-0803

8 第35回
福井地区吹奏楽
アンサンブルコンテスト
(中学校の部)

- 大ホール
- 10:00開演
- 無料(関係者のみ)
- ※福井県立高志高等学校・中学校 岸名
☎0776-24-5175

9 ミラビリス・リコーダーコンサート
結成5周年記念コンサート

- 小ホール
- 14:00開演
- 無料
- ※ミラビリス・リコーダーコンサート 早坂
☎090-8255-1973

10 ニューイヤーコンサート2022
テクノロジーとクラシックで遊ぶ新年!

- 大ホール
- 14:00開演
- S席:6,000円
- A席:4,000円
- 車いす席4,000円
- ※ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

16 (越のルビープロジェクト)
白根奈々
心に響く日本のうた

- 小ホール
- 14:00開演
- 全席指定3,000円
- 車いす席2,400円
- ※ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

各コンサート情報は、この2次元コードからもご覧いただけます。

1月の情報



2月の情報



3月の情報



2022.2/20(日) 公開オーディション

~3つの特色あるオーディションを開催~

福井県新人演奏会2022 出演者オーディション

2022年3月20日(日)開催「福井県新人演奏会2022」の出演者を選考 【対象:2021年4月2日時点の満年齢が18~30歳】

若い芽コンサート2022 出演者オーディション

2022年8月6日(土)開催「若い芽コンサート2022」の出演者を選考 【対象:2022年4月時点で中学生~高校生】

越のルビーアーティストバンク 登録オーディション

福井県文化振興事業団が主宰する「越のルビーアーティストバンク」への登録を認定 【対象:2022年4月1日時点で満20歳以上】

日時 / 2022年2月20日(日)

会場 / ハーモニーホールふくい 小ホール

審査員 / ◆ピアノ部門:岡原慎也、寺田悦子 ◆声楽部門:田中 純、吉田珠代

◆器楽・作曲部門:「アンサンブル・ノマド」から3人 (各部門五十音順)

申込締切 / 2022年1月20日(木) 必着

エキシビジョン・ステージ

『アンサンブル・ノマド』による演奏とお話し

公開オーディションの審査集計の時間を利用して実施される「エキシビジョン・ステージ」には、今年も「アンサンブル・ノマド」のメンバーが登場します。

「NOMADO(遊牧、漂流)」の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在にとり上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムで独自の世界を表現する「アンサンブル・ノマド」

毎年、メンバーが審査員チームとエキシビジョンチームに分かれ、その年によって様々な楽器による組み合わせ、アンサンブルの可能性を魅せてくれるのがこのメンバーの魅力

入場は無料。公開オーディションと合わせて、ユニークな楽器編成によるアンサンブルを楽しんでください。



日時 / 2022年2月20日(日) 16:00~16:40(予定)

出演者 / アンサンブル・ノマド から 3人

会場 / ハーモニーホールふくい 小ホール

入場料金 / 入場無料(事前申込不要)

お問い合わせ 福井県新人演奏会事務局 [(公財)福井県文化振興事業団内] TEL.0776-38-8280(9:00~19:00)



左から/植木 芳美さん
久彦さん(福井市)

福井合奏団でチェロを弾いています。楽しみながら演奏している姿を見て、自分もまた合奏したいと思いました。妻は「心が潤った」と言っています。



左から/高橋 ゆかさん
はるさん(永平寺町)

弦楽器の音が心地よく体に響きました。娘が仲谷さんにピアノを習っていて、今日は初めてのコンサート観賞。「先生かっこいい」と感動していました。

●久しぶりのコンサートでした。とても感動して、胸が熱くなりました。心あたたまる演奏ありがとうございました。
●全員の方が素晴らしい、感動いたしました。
●涙が出てきました。
●アンコールの曲、心の奥までしみみて、ふるえました。
●出演者が楽しそうに演奏していました。(10代/男性)
●久しぶりに一流の音楽に触れ、満足しました。(60代/女性)

近藤 薫と仲間たち ~弦楽の調べ~

2021年10月17日(日) 開催

カーテン
コール



アンコールには全員で「ニュー・シネマ・パラダイス」を、東京フィルハーモニー交響楽団・弦楽メンバーと越のルビーアーティスト仲谷沙弥のハーモニーが小ホール全体に響きました。

辻麻美 デザイナー 越前町

おおらかなインドの布に
想いを込めたデザインを

辻麻美 プロフィール

広島県出身。越前町在住。design labo chica代表・デザイナー。オリジナルデザインの布をインドにオーダーし、自身が立ち上げた「Mula-working cloth」をはじめ、オリジナルテキスタイルの服や雑貨のプロデュース・販売を行う。2018年、夫婦でリノベーションした住居兼ショールームをオープン。



「インドのおおらかな人間らしい布に触れていると、『作りたい』という気持ち湧いてきて、すごく力をもらっているなと思います」
そう語る辻さんは、インドに古くから伝わるブロックプリントを使ったオリジナルテキスタイルのデザイナー。自らデザインした布を使い洋服や雑貨なども手がけています。
ブロックプリントは、ウッドブロックと呼ばれる木彫りのハンコに染料を付け、職人が一押し一押しして染めていく技法。人の手で押すためズレや

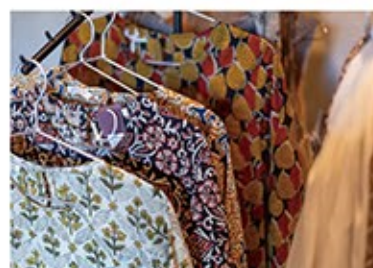
重なりが生まれますが、「それが、おおらかな完璧すぎない、人間味のある、私が大好きなインドの感覚」と辻さん。発注通りにならないことを想定し、組み合わせを決めない自由度の高いデザインにすることで「自分の個性+インドの魅力が入ったオリジナルデザイン」になっています。
インドとの出会いは8年前。仕事を辞め、自分を生かせる場所を模索しているとき、インドを旅し2週間の手仕事ツアーに参加しました。インドの人たちと制作と生活を共にする中で、自分らしい働き方として「この国を仕事にしよう」と決意。その後、インドと日本を行き来し、失敗を経験しながら信頼できる職人と出会い、ブロックプリントの布を制作するようになりました。
5年前には出産を控え、インドに行かなくても仕事ができる環境を整備。オンラインでの取引方法も模索した結果、「コロナ禍での、新しい働き方

を見つけた」といいます。
自身の作風を「感情的なデザイン」と分析。当初はウッドブロックのズレや重なりをデザインに組み合わせていたのですが、「今は、自分が感じた内面的なものをテーマにすることが多い」と語ります。
今年も、コロナ禍の中で「ひとつ」という新作デザインを発表。「同じ円でも、その中に入っているものはみんな違う」という、多様性を大切にしたいメッセージが込められています。
「ものづくりや考えを深める時間をちゃんとつくりたい」という想いから、ショールームは平日予約制、週末は土曜のみのお店に。子育てを経験し、「子どもの視点などは、今後のクリエイションに生きてくるかも」と展望します。
「コロナ禍が落ち着いたいたら、外国で展示会を開きたい。自分のデザインが、海外でどんな風に受けとめられるか挑戦してみたいです」。生き生きとした笑顔が広がります。

■活動報告はこちらから

design.labo.chica

「design.labo.chica」で検索



新作を待つファンも多い「Mula-working cloth」の作品たち。「私のデザインが、遠くの方の人生で力になったり、エネルギーになったりするならすごくうれしいです」



信頼できる工房を探してようやく出会った、西インドのパグール村の職人。20cm角程度のウッドブロックを使い、同じ作業を何度も繰り返し、ひたすら模様を染めていく



「生命の賛歌」というデザインは、3つのウッドブロックで構成。辻さんの妊娠と家族の病気が重なったときに、命への尊敬を込めて作られたものだとい

福井の手しごと

昆布かき 敦賀市

研ぎ澄まされた感覚で
削り出す“ひとかき”

敦賀の昆布は有名ですが、中でも手すきの「おぼろ昆布」は職人の手で丁寧に削り出される名品です。現代の名工にも選ばれた別所昭男さんは、この道60余年。厚さ0.01ミリのおぼろ昆布「極」や、独自の削りが生み出す蒸しても溶けない「竹紙昆布」など、真似できない技の持ち主です。
昆布は包丁の摩擦によって熱が生じるため、厚さだけで

なく削る速さでも味が変わるそう。大事なのは昆布を持つ左手の感覚で、引いたり緩めたりしながら右膝で包丁を押して体で削り出します。長い昆布の時は、息を止めてすべて均一な力加減で。「腹筋を使うから昆布かき職人に腹の出た者はいない」と別所さん。鍛えられた体で機械以上に精巧な手さばきを見せます。



昆布に合わせて包丁の歯先のカーブを変える。この感覚も長年の経験で手が覚えている



後継者の育成も重要な課題。十数年前は約300人いた敦賀の手すき昆布職人も、現在では100人程度になっている

別所商店
住所/敦賀市本崎33-7-2
TEL/0770-23-7689

逸品拝見

蓮如上人銅像 あわら市

蓮如上人布教の地に立つ
高村光雲ゆかりの銅像

浄土真宗中興の祖・蓮如上人が北陸布教の拠点とした吉崎御山。その跡地は「吉崎御坊跡」と呼ばれ、約5千坪の広大な土地が、公園として整備されています。
四季折々の景色も美しいこの公園でひと際目を引くのが、高さ5メートル、御影石の台座約7メートルの堂々とした蓮如上人の銅像です。この像は、「楠公像」や「西郷隆盛

像」を作り上げた彫刻家の巨匠、高村光雲が製作に関わっています。
銅像の建立は、昭和3年の昭和天皇の即位大典を記念し、地元信徒らが中心となって発起。多くの寄付も寄せられて完成し、昭和9年に落成法要が執り行われました。
現在この銅像は、吉崎のシンボルとして多くの人に親しまれています。



吉崎御坊跡公園の「蓮如上人銅像」

加賀地域の地図
住所/あわら市吉崎(吉崎御坊跡)
問い合わせ先/あわら市郷土歴史資料館
TEL/0776-73-5158

◎県・市町立施設から情報提供のあった催し物、および当財団名義後援の催し物を掲載しています。(22.1月～3月に開催予定分/12月2日時点の情報です)◎催し物に関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。

1/20(木)
 ユー・アイふくい(福井県生活学習館)
ふるさと未来講座「地域づくり」
里山を創生する
「デザインの思考」と「生活観光」。
 ●14:00～15:30
 ●無料
 福井ライフ・アカデミー本部
 ☎0776-41-4206

1/21(金)・22(土)
 バレオ若狭 音楽ホール
優秀映画鑑賞推進事業
バレオ若狭 映画の日
 ●10:00開演、14:30開演
 ●全席自由 / 1作品:500円、1日券:2作品800円
 バレオ若狭チケットカウンター
 ☎0770-62-2506

1/22(土)
 福井県立図書館 多目的ホール
鈴江敏郎氏創作講座 脚本
 ●14:00～15:30
 ●無料
 福井県ふるさと文学館
 ☎0776-33-8866

1/22(土)
 福井市立図書館
えほんとかみしばいの
よみきかせ会
 ●15:00～15:30
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-20-5000

1/23(日)
 福井市立図書館 講座室
えほんとかみしばいの
よみきかせ会
 ●14:00～14:30
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-34-8859

1/23(日)
 福井市立図書館
あそびとえほん
 ●15:00～15:30
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-20-5000

1/23(日)
 福井市立図書館 講座室
わらべうたと絵本を楽しむ
てんてんくらぶ
 ●11:00～11:30
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-34-8859

1/27(木)
 福井市立図書館 講座室
わらべうたと絵本を楽しむ
てんてんくらぶ
 ●11:00～11:30
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-34-8859

1/28(金)～1/30(日)
 鯖江市まなべの館 展示ホール1・2
令和3年度
福井県立丹南高等学校
総合学科卒業制作展
 ●9:00～17:00
 ●無料
 鯖江市まなべの館
 ☎0778-51-5999

1/29(土)
 福井市立図書館
えほんとかみしばいの
よみきかせ会
 ●15:00～15:30
 ●無料
 福井市立図書館 ☎0776-20-5000

1/9(日)
 福井市立みどり図書館 講座室
えほんとかみしばいの
よみきかせ会
 ●14:00～14:30
 ●無料
 福井市立みどり図書館
 ☎0776-34-8859

1/10(月・祝)
 越前市文化センター 大ホール
シネマ歌舞伎
①「春興鏡獅子」
②「東海道中膝栗毛」
 ●①11:00開演
 ●②14:30開演
 ●全席自由席
 一般:2,200円
 基の都ホール友の会:2,000円
 高校生以下:1,500円
 越前市文化センター
 ☎0778-23-5057

1/13(木)
 福井市立みどり図書館 講座室
わらべうたと絵本を楽しむ
てんてんくらぶ
 ●11:00～11:30
 ●無料
 福井市立みどり図書館
 ☎0776-34-8859

1/15(土)
 福井市立みどり図書館 講座室
ストーリーテリングの会
 ●14:00～14:30
 ●無料
 福井市立みどり図書館
 ☎0776-34-8859

1/15(土)
 福井市立図書館
えほんとかみしばいの
よみきかせ会
 ●15:00～15:30
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-34-8859

1/15(土)
 福井市立図書館
あそびとえほん
 ●15:00～15:30
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-20-5000

1/15(土)
 若狭町立図書館 バレオ館
夜の図書館
「チアのかで元気に!
～こんな時だからこそ笑顔で～」
JETS顧問とOGのトークイベント
 ●19:00～21:00
 ●無料
 ※定員に達しました
 バレオ若狭
 ☎0770-62-2508

1/16(日)
 福井市愛宕坂茶道美術館
体験講座
「梅結びのアクセサリーづくり」
 ●①10:00～12:00
 ●②13:30～15:30
 ●参加費:300円
 ●各回10名
 (選ぶパーツの種類によって100円～500円の追加料金あり)
 事前受付12/18～(電話またはFAX)
 福井市愛宕坂茶道美術館
 ☎0776-33-3933

1/16(日)
 福井県立図書館 多目的ホール
山の文学キネマ 滝を見にいく
 ●13:30～15:10
 ●無料
 福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866

その他
 and Others
開催中～1/10(月・祝)
 福井県立恐竜博物館 特別展示室
令和3年度特別展
「海竜 ～恐竜時代の
海の猛者たち～」
 ※好評につき開催期間延長!
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●一般:1,300円、高大学生:800円
 小中学生:600円、70歳以上:500円
 ※常設展も観覧できます
 福井県立恐竜博物館
 ☎0779-88-0001

開催中～1/23(日)
 福井県ふるさと文学館
深田久弥 没後50年記念展
山があるから
 ●無料
 福井県ふるさと文学館
 ☎0776-33-8866

開催中～2/26(土)
 福井県ふるさと文学館
特別展示
宮城谷昌光 古代中国小説の軌跡
 ●無料
 福井県ふるさと文学館
 ☎0776-33-8866

1/28(金)～3/23(木)
 福井県ふるさと文学館 文学の小路
青森県近代文学館 パネル展
青函を旅した文人たち
 ●無料
 福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866

1/8(土)～1/10(月・祝)
 福井県陶芸館
新春!陶芸館2022
 ●9:00～16:00
 ●入場料:無料 ※料金は各催しにより異なる
 福井県陶芸館 ☎0778-32-2174

1/8(土)
 福井県立図書館 多目的ホール
山の文学キネマ 氷壁
 ●13:30～15:20
 ●無料
 福井県ふるさと文学館
 ☎0776-33-8866

1/8(土)
 福井市立図書館
冬休み おはなしのせかい
 ●11:00～11:40
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-20-5000

1/8(土)
 福井市立清水図書館 視聴覚室
子どもえいが会
 ●14:00～
 ●無料
 福井市立清水図書館
 ☎0776-98-3820

1/8(土)
 福井市立図書館
えほんとかみしばいの
よみきかせ会
 ●15:00～15:30
 ●無料
 福井市立図書館
 ☎0776-20-5000

1/1(土・祝)～1/31(月)
 勝山城博物館
新春特別陳列
新収品展
 ●9:30～16:30(入館は16:00まで)
 ●大人:500円
 小中高生:200円
 勝山城博物館
 ☎0779-88-6200

1/3(月)～5/17(火)
 福井県立歴史博物館 エントランスロビー
写真展
「戦国越前の謎を解く
～明智光秀(青の10年)～」
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●一般:100円
 70歳以上の方・高校生以下:無料
 福井県立歴史博物館
 ☎0776-22-4675

1/7(金)～1/16(日)
 敦賀市立博物館 2階展示室、3階展示室
夷子大黒綱引き
衣装展
 ●10:00～17:00
 ●一般:300円
 高校生以下:無料
 敦賀市立博物館
 ☎0770-25-7033

1/15(土)～2/27(日)
 福井県立郷土歴史博物館 松平家史料展示室・館蔵品ギャラリー
福井藩の医療
～家業、医学所、種痘～
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●220円
 福井県立郷土歴史博物館
 ☎0776-21-0489

1/22(土)～2/27(日)
 福井県立子ども歴史文化館 特別展示室
「彩 織りなす、描きだす」
Part1
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●無料
 福井県立子ども歴史文化館
 ☎0776-21-1500

1/28(金)～4/3(日)
 武生公会堂記念館 展示室2
令和3年度
館蔵品展
「地図・古写真でみる
越前市の街並み 武生編」
 ●10:00～18:00(入館は17:30まで)
 ●無料
 越前市武生公会堂記念館
 ☎0778-21-3900

3/3(木)～4/19(火)
 福井県立郷土歴史博物館 館蔵品ギャラリー
靱(ゆぎ)に注目!
鼓山古墳
 ●9:00～19:00(入館は18:30まで)
 ●220円
 福井県立郷土歴史博物館
 ☎0776-21-0489

3/12(土)～5/10(火)
 福井県立歴史博物館 特別展示室
新収館蔵品展
戦国越前の謎を解く
～真柄十郎左衛門の正体など～
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●一般:400円
 高大学生:300円
 小中学生:70歳以上の方:200円
 福井県立歴史博物館
 ☎0776-22-4675

3/6(日)
 バレオ若狭 音楽ホール
今川裕代&高井敏弘
デュオコンサートwithトルピアニスト
～受け継ぐ未来への夢～
 ●14:00開演
 ●全席指定 / 一般:1,500円
 学生(高校生以下):500円
 バレオ若狭チケットカウンター☎0770-62-2506

3/16(水)
 鯖江市文化センター ホワイエ(ロビー)
第13回カルネットコンサート
「Flute's カルネット」
フルート:代田純子/岩山恵美
大石さち子/辻 好
 ●13:30開演 ●500円
 鯖江市文化センター ☎0778-52-7430

3/27(日)
 福井県民ホール
カワイこどもおんがくかい
 ●開催時間:未定 ●入場料:未定
 カワイ音楽教室 福井事務所
 ☎0776-23-6327

演劇・演芸
 Theatrical&Entertainment
2/11(金・祝)
 越前市文化センター 小ホール
第76回 文化センター寄席
上方落語会
 ●14:00開演
 ●全席自由席 / 一般:1,500円
 基の都ホール友の会:1,300円
 大学生以下:500円
 越前市文化センター ☎0778-23-5057

3/5(土)
 鯖江市文化センター 大ホール
梅沢富美男劇団公演
鯖江特別公演
 ●昼の部14:00 / 夜の部18:00
 ●6,000円、友の会:5,500円
 鯖江市文化センター ☎0778-52-7430

3/29(火)
 福井県民ホール
藤島高校ジャグリング部
定期公演
 ●18:00開演(17:30開場) ●無料
 ●開催時間:未定 ●入場料:未定
 福井県立藤島高等学校 大部
 ☎0776-24-5171

歴史
 History
開催中～3/8(火)
 福井市橋本記念文学館
新・収蔵品展2021
「曙覧の書をたのしむ」
 ●9:00～17:15(入館は16:45まで)
 ●100円、中学生以下:70歳以上・障がい者手帳を
 お持ちの方:無料
 福井市橋本記念文学館
 ☎0776-35-1110

12/18(土)～3/13(日)
 福井県立若狭歴史博物館
ちよつとむかしのくらし展
～三方五湖の漁業編～
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●常設展料金で観覧可
 (一般:310円、高校生以下・満70歳以上:無料)
 福井県立若狭歴史博物館
 ☎0770-56-0525

1/18(火)～3/15(火)
 敦賀市立博物館 3階展示室
刀剣資料公開展
 ●9:00～17:00
 ●一般:300円、高校生以下:無料
 敦賀市立博物館
 ☎0770-25-7033

3/1(火)～5/15(日)
 福井市愛宕坂茶道美術館
特別展
「眼福 美麗なる中国陶磁
～京都国立博物館
松井コレクションより～」
 ●9:00～17:15(入館は16:45まで)
 ●300円
 中学生以下・70歳以上・障がい者手帳を
 お持ちの方:無料
 福井市愛宕坂茶道美術館
 ☎0776-33-3933

音楽・舞踊
 Music&Dance
1/22(土)
 鯖江市文化センター ホワイエ(ロビー)
第11回
カルネットコンサート
「オカリナふるさとライブ」
オカリナ:代田雅揮
 ●13:30開演 ●500円
 鯖江市文化センター
 ☎0778-52-7430

2/12(土)
 福井県児童科学館 スペースシアター
ファミリー★コンサート
「リズムで遊ぼう ワン・ツードン!
～みんなでつくるコンサート～」
 ●①10:30開演
 ●②14:30開演 ※各45分
 ●大人:520円
 小中高生:260円
 幼児:100円
 ※事前受付(Webまたはハガキ)
 福井県児童科学館
 ☎0776-51-8000

2/13(日)
 福井県民ホール
第53回
仁愛高等学校
マーチングバンド部
定期演奏会
 ●500円
 仁愛女子高等学校マーチングバンド部
 顧問:佐藤 ☎0776-24-0493

2/25(金)
 鯖江市文化センター ホワイエ(ロビー)
第12回
カルネットコンサート
「二胡&ギター 2strings」
二胡:鈴木裕美/ギター:鈴木隆志
 ●13:30開演
 ●500円
 鯖江市文化センター
 ☎0778-52-7430

3/6(日)
 越前市いまだて芸術館
スーザを吹こう!
Vol.8
 ●14:00開演
 ●全席自由 / 500円
 越前市いまだて芸術館
 ☎0778-42-2700

2/12(土)～2/13(日)
 福井市美術館 市民ギャラリー
あとりえ「風」作品展
 ●9:00～17:15(入館は16:45まで)
 ●無料
 福井市美術館 ☎0776-33-2990

2/16(水)～3/15(火)
 敦賀市立博物館 3階展示室
敦賀コレクション
季節の絵画
 ●10:00～17:00
 ●一般:300円、高校生以下:無料
 敦賀市立博物館 ☎0770-25-7033

2/17(木)～2/20(日)
 鯖江市まなべの館 展示ホール1・2
第86回県かきぞめ読書大会
優秀作品・鯖江展
 ●9:00～17:00
 ●無料
 鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999

2/19(土)～3/27(日)
 福井市美術館
日本人の夢・あこがれ
明治から昭和のポスター展
 ●9:00～17:15(入館は16:45まで)
 ●一般:1,000円、高大学生:800円、
 小中学生:500円
 福井市美術館 ☎0776-33-2990

2/26(土)～3/21(月・祝)
 福井県立美術館
版画名品展
～ピカソ・北斎、巨匠たちの表現～
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●一般:大学生:100円
 (20名以上の団体は2割引)
 高校生以下・70歳以上・障がい者手帳を
 お持ちの方とその介護者1名:無料
 福井県立美術館 ☎0776-25-0452

3/3(木)～4/19(火)
 福井県立郷土歴史博物館 松平家史料展示室
描かれた花鳥の美
 ●9:00～19:00(入館は18:30まで)
 ●220円
 福井県立郷土歴史博物館
 ☎0776-21-0489

2/12(土)
 福井県民ホール
第53回
仁愛高等学校
マーチングバンド部
定期演奏会
 ●500円
 仁愛女子高等学校マーチングバンド部
 顧問:佐藤 ☎0776-24-0493

2/25(金)
 鯖江市文化センター ホワイエ(ロビー)
第12回
カルネットコンサート
「二胡&ギター 2strings」
二胡:鈴木裕美/ギター:鈴木隆志
 ●13:30開演
 ●500円
 鯖江市文化センター
 ☎0778-52-7430

絵画・書道
 Art&Calligraphy
12/15(水)～1/16(日)
 福井県立美術館
いろいろ。
色と作品の世界。
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●一般:大学生:100円
 (20名以上の団体は2割引)
 高校生以下・70歳以上・障がい者手帳を
 お持ちの方とその介護者1名:無料
 福井県立美術館 ☎0776-25-0452

12/24(金)～1/16(日)
 福井県立美術館
新春展「虎
～美の中の虎を捕まえよう～
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●一般:大学生:100円
 (20名以上の団体は2割引)
 高校生以下・70歳以上・障がい者手帳を
 お持ちの方とその介護者1名:無料
 福井県立美術館 ☎0776-25-0452

1/15(土)～1/23(日)
 福井市美術館
第23回
福井市・吉田郡中学校
美術科作品
かんじて・み・よさ展
 ●9:00～17:15(入館は16:45まで)
 ●無料
 福井市美術館 ☎0776-33-2990

1/18(火)～2/15(火)
 敦賀市立博物館 3階展示室
敦賀コレクション
冬の絵画
 ●10:00～17:00
 ●一般:300円、高校生以下:無料
 敦賀市立博物館 ☎0770-25-7033

1/22(土)～2/20(日)
 福井県立美術館
東西日本画美の競演
～東京と京都、どちらがお好き?
 ●9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ●一般:大学生:100円
 (20名以上の団体は2割引)、
 高校生以下・70歳以上・障がい者手帳を
 お持ちの方とその介護者1名:無料
 福井県立美術館 ☎0776-25-0452

1/29(土)～1/30(日)
 福井市美術館 市民ギャラリー
筆線-hitsuen-
 ●9:00～17:15(入館は16:45まで)
 ●無料
 福井市美術館 ☎0776-33-2990

2/4(金)～2/6(日)
 福井市美術館 市民ギャラリー
福井工業大学
デザイン学科
卒業制作展2022
 ●9:00～17:15(入館は16:45まで)
 ●無料
 福井市美術館 ☎0776-33-2990

2/10(木)～2/13(日)
 福井市美術館 市民ギャラリー
第55回
福井工業大学附属
福井高等学校デザイン分野
卒業制作展
 ●9:00～17:15(入館は16:45まで)
 ●無料
 福井市美術館 ☎0776-33-2990

Event Pick up イベントピックアップ



赤王ポर्टワイン

日本人の夢・あこがれ 明治から昭和のポスター展

福井市美術館 2022.2/19(土)~3/27(日)
9:00~17:15(入館は16:45まで) 一般1,000(900)円、高校・大学生800(700)円、小・中学生500(400)円...

時代を彩り、象徴するポスター作品を紹介し、明治以降、情報伝達・宣伝広告のため、大量に印刷されたポスターは、街中に掲示され多くの人々の目に触れることで、時代の空気を表現し、当時の社会や世相と共鳴しました。



美の中に息づく虎たち 美術館で虎ハンター

令和3年度テーマ展「ちよつとむかしのくらし展~三方五湖の漁業編~」

福井県立若狭歴史博物館 12/18(土)~2022.3/13(日)
9:00~17:00(入館は16:30まで) 常設展示入館料でご覧いただけます。一般310円、高校生以下・70歳以上無料...

三方五湖は、湖ごとに淡水、海水、汽水と塩分濃度が異なっています。そのため、湖に住む魚も異なり、また、水深も異なるため、魚や水深に合わせた漁、たたき網や柴漬け漁など、様々な漁が一年間を通じて行われています。



三方湖でのたたき網漁の様子

令和4年の干支は「虎」。虎は古くから絶好の題材として好まれてきました。しかし、日本に野生の虎は生息していません。動物園も写真も無い時代の作家たちは、見たことのない虎をどのようにして描いていたのでしょうか。

新春展「虎」~美の中の虎を捕まえよう~

福井県立美術館 12/24(金)~2022.1/16(日)
9:00~17:00(入館は16:30まで) 一般・大学生100円(20名以上の団体は2割引)...

令和3年が暮れようとしています。歳の終わりに私たち事業制作スタッフが振り返るのは、関わったお客様やアーティストのみならず、音楽を通して繋がりをとだけ築けたかということです。それらは、私たちに對する数々のお褒めの言葉やお叱りの言葉に象徴されています。

編集後記

今年唯一お招きできた来日アーティストのマスター、先日東京で開かれた東京フィルの演奏会、観客からの質問コーナーで「日本で好きな場所、思い出深い場所とそこでのエピソードは？」という問いに、「1月に行った福井。雰囲気良かったし、何よりホールが素敵で気に入りました」と答えたといいなんと嬉しいニュースが飛び込んできました。